

福寿園だより

Vol. 92

令和5年1月10日発行



- ◆特別養護老人ホーム福寿園…………… 定員100名
(うちショートステイ15名)
- ◆ケアハウスさくら荘…………… 定員30名
- ◆福寿園デイサービスセンター…………… 定員42名
- ◆福寿園ヘルパーステーション…………… (うち認知型12名)
- ◆福寿園居宅介護支援センター
- ◆原町東地域包括支援センター

編集
発行

社会福祉法人 南相馬福祉会
福寿園広報委員会

〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町2-70
TEL (0244)25-2811
FAX (0244)25-2812
URL <http://minamisomafukushikai.or.jp>
MAIL fukujuen@chive.ocn.ne.jp



しめ縄づくり



皆様ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、当法人初の外国人介護人材として、ミャンマー人特定技能介護職員7名を採用しました。当人は、南相馬市での生活にも徐々に慣れ、寒さにも負けず毎日元気に業務に励んでいます。

令和5年度より、東日本大震災の被災者の方の国民健康保険・後期高齢者医療及び介護保険における一部負担金及び保険料(税)の特例減免措置が見直され、避難指示準備区域が解除された年度に応じて、減免の終了が段階的に順次実施されます。

令和5年度は、南相馬市の一部(旧緊急時避難準備区域)において、保険料(税)を全額免除から1/2減免となります。令和6年度には減免終了となります。

一部負担金については、令和6年度まで全額減免ですが、令和7年度には特例が終了し、減免が終了することになります。

物価高騰が続く中、医療・福祉の負担が皆様の生活に及ぼす影響は決して小さくありません。暮らしやすさとは何か、いろいろと考えさせられる一年となりそうです。

年頭の
ごあいさつ

常務理事
菅原 武



ハッピーデイ

(福寿園デイサービス)

10月行事
芸術の秋・作品作り

福寿園・さくら荘
合同芸術祭に向け、
10月21日、22日の両
日、作品作りを行
いました。

習字や俳句、塗り
絵、イラストハガキ
等、皆さんそれぞ
れに好みの作品を真
剣な面持ちで製作さ
れていました。

完成した作品はい
ずれも素敵で、芸術
祭会場がとても華や
かになりました。



原町第三中学校・職場体験

原町第三中
学校の職場体
験を受け入れ
ました。

ご利用者と
一緒に体操し
たり、入浴後
の整髪、配膳
の手伝い等の
体験を行いました。



午後レクリエー
ションでは、
ビンゴ大会を
開催し、一等
賞のご利用者
には、手作りの
「コスモスのリ
ース」をプレ
ゼントしてく
れました。

いつもと違う
楽しみがあっ
た二日間、ご
利用者の皆さ
んの笑顔が一
段と輝いてい
ました。

11月行事 ボウリング大会

11月15日にボウ
リング大会を行
いました。バラ
ンスボールを
転がし、10本
並べたペット
ボトルを何
本倒せたかを
競います。



ご利用者の皆
さん、大きな
バランスボ
ールを両手で
持ち、力いっ
ぱい投げてい
ました。
1位から3位
までのご利用
者には、金・
銀・銅メダル
を贈呈。参加
賞としてネック
ウォーマーを
プレゼントし
ました。

こんにちは

原町東地域 包括支援センター です!

家族介護教室の報告

11月17日(木)大甕生涯学習センターにて「認知症とお薬についてくすりとう上手に付き合おう」と題して、アイン薬局の布川将司様(薬剤師)より講義をいただきました。

認知症そのものを治す特効薬はまだ開発されていないとのことでしたが、早めに薬の服用を開始し、継続することで、その後の進行を緩やかにする効果があることがわかっていそうです。

また、認知症が進行すると薬の飲み忘れや飲み過ぎが心配されます。一包装やお薬カレンダー、服薬支援ロボット、薬剤師による訪問を生活に導入する等の方法についても、説明をいただきました。

皆さんのそばに、認知症のご本人やご家族を応援してくれる薬剤師さんがいるはずですよ。かかりつけの薬剤師さんにぜひ相談してみてください。



イルミネーション

今年は環境への配慮も考え、昨年より規模を小さくしてイルミネーションを飾りました。小規模でも、ご利用者から、「綺麗だな。」と喜んでいただけるよう、工夫を凝らし、鮮やかに飾り付けました。

窓の外のイルミネーションを眺め、ご利用者と一緒にクリスマス気分を楽しみました。



カフェ

今年2回目のカフェを11月に開催しました。柿やキウイと芋羊羹などの和菓子を味わっていただきました。

秋の味覚を楽しみながら、体操をしたり、おしゃべりを楽しんだり、皆さん良い気分転換が出来たのではないかと思います。



特別養護
老人ホーム
福寿園

芋煮会

10月28日(金)に、毎年恒例の芋煮会を開催しました。今年のメニューは「焼きうどん」と「きのこ汁」です。

調理は、ご入居者9名が参加されました。終始和やかに、時には談笑しながら協力いただきました。昼食に出来立ての「焼うどん」と「きのこ汁」食べ、「味付けがちょうどよく美味しかった」「きのこ汁は出汁が良くでていて美味しかった」との声が多く聞かれました。



ケアハウス さくら荘

さくら荘アート

毎月一回、作品作りを行っています。塗り絵や貼り絵、お花紙で作るお花など、ご入居者それぞれに好きなものを選んでもらい作品を作ります。さくら荘アートの時間は約1時間ですが、みなさん集中して取り組まれています。



内部研修

12月8日(木)に感染症・食中毒についての内部研修を行い、日頃の感染予防対策を見直す貴重な機会となりました。特に次の2点は要注意!

【手洗い】

親指や爪や手の甲などは汚れが残りやすい所であり、すすぐ時間も意識して30秒以上掛ける事。

【消毒用アルコールを使用する時】

濡れたままでは薄まってしまう、効果が下がるので、手の水分をしっかりと拭き、乾燥させてから使用する事。

新型コロナウイルスばかりがクローズアップされていますが、インフルエンザやノロウイルスなどにも注意が必要です。感染対策の三つの柱『感染源の排除・感染経路の遮断・宿主(人間)の抵抗力の向上』を意識し、今後も引き続き感染予防に努めたいと思います。



芸術祭

11月に福寿園・さくら荘合同芸術祭を行いました。ご利用者の皆さんや職員より、力作が寄せられ、華やかに開催できました。

毎年、素敵な作品を鑑賞し、芸術の秋を堪能できます。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



愛 * こんたくと!

ヘルパーステーション

施設介護から在宅介護へ

4月に特別養護老人ホーム福寿園より異動し、9ヶ月が経過しました。施設での介護から在宅介護へとフィールドが変わり、まず感じた違いが、施設介護は、ご利用者を施設に迎えて日常生活の支援を行います、入所の要件

いつもありがとうございます
ごぞいませ

寄付寄贈 (9月16日~12月15日)

◎桑折 敏勝様 (原町区大木戸)

寄付金

◎佐藤 勝彦様 (原町区大町)

寄付金

◎門馬 清様 (原町区大甕)

卓上ごみ入れ



が特別な場合を除いて要介護3以上の方ということで、身体介護の必要性が高く、在宅介護は、ご利用者が自宅で生活されており、ある程度自立された方が多いということです。自宅での生活スタイルを尊重し、必要な支援を提供します。ご利用者はもとより、ご家族との信頼関係を築く過程も大切であり、ご家族との関係がより密接です。今後は施設介護のキャリアを活かし、ご自宅での生活を支える「在宅介護」の第一線で活躍できるよう日々学んでいきたいと思えます。

編集後記

早いもので年号が令和となつてから5回目の新年を迎えました。

新型コロナウイルス感染症の流行により、私たちの生活は大きく様変わりしましたが、行動制限も徐々に緩和され、少しずつ以前の生活を取り戻しつつあるように感じます。

さて、今年の干支はうさぎですね。うさぎは、「飛躍」「向上」の象徴であり、景気の好転や回復の縁起のいい年と言われます。

うさぎの跳躍力を真似て、私たちも一日いちにちを精一杯跳躍し、飛躍できるように、そして年末には「良い一年だった」と振り返れたら、何よりですね!

今年もよろしくお願ひします

